

町報

2002
1月

No.370

こうふ

回主な内容

- 町長新年のあいさつ 2
- 庁舎建設アンケート結果 3
- 市町村合併 4・5・6・7
- 確定申告ほか 8・9
- 町の話題 10・11
- 情報コーナー 12・13
- ハンドベル演奏会ほか 14
- 図書館おすすめの本 15
- スキーマラソン大会参加者募集・求人 16
- 人の動きほか 17
- ヤング・チャレンジクッキング 18



迎春

御机地内から冠雪の大山を望む

江府町発足50周年の今年

さらなる快適な町づくりをめぐりまして

江府町長 福田正臣



二十一世紀

幕開けの昨年は

新年あけましておめでとう
ございます

謹んで新春のお慶びを申し上げますととも
に先ず町民皆様のご健勝とご多幸を心より
お祈り申し上げます。

さて、二十一世紀を迎えた
昨年は、国内外ともに激動と
変革、更に想像もできなかった
天災と人災が起こり、不穏
な世相の中で町民皆様の積極
的な理解と協力・参加により

二十一世紀の町づくりの輪が
全町に広がって参りました。
ここに深く敬意と感謝を申し
上げます。

特に、一昨年十月に発生し
た「鳥取県西部地震」による
被災箇所への復旧作業も順調に
進み、八割をこす状況です。

この震災を教訓として、全
国に先がけ、被災者の住宅再
建を支援する制度を県と市町
村が共同出資して立ち上げま
した。

また、防災計画を見直し、
県下注目目の防災ヘリポート基
地と緊急救援物資備蓄施設の
建設を進めており、災害に強
い町づくりを目指しています。

町制50周年と

国民文化祭の開催

—江府会場—

今年、江府町が誕生し、

五十周年を迎えます。

昭和二十八年六月一日、県
下に先がけ誕生した本町も半
世紀という大きな節目を迎え、
先人皆様のご努力を讃えます
とともに、記念式典等を通じ
て「ふるさと江府町」への思
いと町づくりへの町民意識の
高揚を念願いたしましたものと
存じます。

また、十月十二日からの「文
化の国体」ともいわれる第十
七回国民文化祭とつとりの一
環として十月二十六日から十
一月四日まで江府会場では「ふ
るさとなんでも夢まつり、水
の文化フェスティバル」と題
し開催する計画でございます。

全国各地からお越しになる
皆さんに江府町のよさを知っ
ていただくためにも、全町民
皆様のご協力により、ぜひ成
功させたいと思います。

庁舎建築と

市町村合併は

次に、庁舎建築と市町村合
併問題です。

昨年、全世帯に庁舎建築の
アンケートを依頼し、その意
向を取りまとめ、新年度より
進めて参ります。

また、合併問題については、
町の命運をかけた最大の緊急
課題であり、町民皆様と充分
に検討していきたいと考えて
おります。
(詳細は4頁7〜に掲載)

町民総参加で

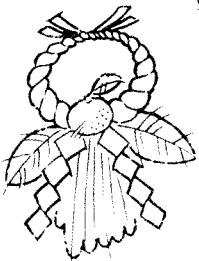
課題に取り組もう

また、高齢化の進むなかで
緊急を要する歯科を含めた医

療・保健・福祉の一体化を進め、
情報先進町として町づくりを
考えております。

更に、町総合計画の具現化
のため、教育・上下水道・生
活環境・道路交通網の整備・
農林商工・産業・観光振興など、
引き続き積極的に取り組む、
町民皆様が安全安心して「住
んでよかった」、住みたくな
る町づくりに向け、積極的に
取り組む決意を新たにしてお
ります。

このような様々な課題に向
けて、町民自らの課題として
受けとめ、町民総参加で取り
組んでいただくことを節にお
願いし、新年のご挨拶といた
します。



庁舎建設について

みなさんの意見



江府町はかねてから現庁舎（昭和31年建築）の老朽化に伴い新庁舎建設について検討していました。しかし、昨年10月に発生した鳥取県西部大地震の際、住民の防災拠点としての機能に不安を残し新庁舎の建設が急務となりました。このため具体的な検討を行うにあたり、広く町民の皆さんから意見を募集しました。庁舎建設については、来年度予算には設計委託料・用地費等を計上し平成15年度着工・完成を目指しています。

十二月十日の締切日までに95人の方々から応募があり様々なご意見を頂戴しました。有難うございました。その多かったご意見の概要について報告します。

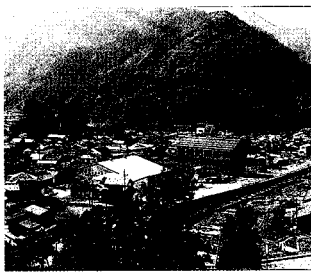
◎場所について

50名の方がJA江府町支所周辺を希望されています。

現在地がよいとされる方も17名おられました。

◆JA江府町支所周辺

50人



◆現在地がよい

17人

◆江尾銀杏の段周辺（土地が広い・国道県道を考えてを

含む）
6人

◆広い場所ならどこでも良い

4人

◆小江尾地内（工業団地付近）

3人

◆JR江尾駅周辺

3人

◆武庫交流センター付近

3人

◆その他

22人

◎規模や構造・デザインについて

理由は合併を考慮して様々でしたが、規模は必要最小限でよいとする意見が22名ありました。また、現在教育委員会・福祉保健課の建物が別棟になっているため不便なので行政事務の窓口を一カ所（できればワンフロア）にまとめてほしいとのご意見も13名ありました。

デザインとしてはチロル風のものをとされる方が17名ありました。障害のある方への

対応として、バリアフリーのご意見も9名ありました。又木造ないし木材をふんだんに使用するの意見も9名ありました。

◆3階建てがよい（3階建もしくは4階建を含む）
7人

◆必要最小限で良い（合併を考慮して、あまり大きくないもの）
22人

◆議会、教育委員会、農業委員会が併設できる規模（福祉保健課併設を含む）
7人

◆バリアフリーを考慮してオープンカウンターで
5人

◆鉄筋コンクリート一部3階建て
5人

◆ワンフロアがよい
6人

◆チロル風のもの
17人

◆十分な駐車場スペースを
4人

時代は、

いっしょになろうよ！

あなたの町と私の町

市町村合併だ



| | |
|--|---|
| 定江町  | 江府町  |
| 大山町  | 米子市  |
| 名和町  | 境港市  |
| 中山町  | 西伯町  |
| 日南町  | 会見町  |
| 日野町  | 岸本町  |
| 溝口町  | 日吉津村  |

昨年の5月31日に鳥取県西部地区の市町村長で構成する「鳥取県西部地域振興協議会」の中に、合併問題について情報交換や調査研究を行なうための「入合併問題等研究会」が、各市町村の担当課長らで設立されました。設立から7回の勉強会を重ね、将来の人口推計・財政推計、合併の効果や問題点が話し合わせ、報告書がまとまり、12月14日には、鳥取県西部地域振興協議会に提出されました。

また、日野郡内でも担当課長による勉強会が開かれるなど合併に向けて、動きが活発となってきました。今回は、その要旨などをお知らせします。

今、なぜ

市町村合併なの？

質問 1 今、なぜ市町村合併の話が出たのですか？

例に関する法律」が平成17年3月で期限切れを迎えます。「資料1」平成11年7月の改正で合併特例債の創設や市となるべき要件の緩和などが盛り込まれた優遇措置が受けられます。

答 1 住民の行政に対する要望が多様になり、これに応えるため介護保険、廃棄物処理、国際交流など専門的な知識や技術をもった職員が必要になりました。

質問 2 江府町はどこと合併するのですか？

答 2 江府町でも高齢化、少子化が進み、人口は4,000人たらずとなり、高齢化率も32%です。地域社会の担い手は減少の一途をたどっています。介護保険や国民健康保険の運営はいつそう厳しい状況になることが予想されます。

答 1 鳥取県が事例として次の3案を示しています。

答 3 交通通信網の発達によって、住民の生活や経済活動が町の区域を越え大幅に拡大しています。これに伴い行政の枠組みも拡大したほうが効率的な行政サービスが提供できます。

答 2 鳥取県が事例として次の3案を示しています。

①日野郡4町が合併する案。②日野郡4町と西伯、会見、岸本の3町を加え合併する案。③西部2市12町村が合併する案。

西部地域ではすでに「西部広域行政管理組合」を組織し、消防・不燃物・介護保険などの事務を共同処理しています。

また、この規模の合併で人口は25万人近くに達し、特例市となつて独自の町づくりが可能です。他市町村の通勤者は勤務先の役所で住民票等の交付が受けられ、便利になります。③案が最良と考えます。

①合併協議会設置にかかる住民発議制度の拡充
②普通交付税の算定の特例の期間の延長
③合併特例債の創設
新市町村建設計画に基づく事業で特に必要と認められるものには10カ年度に限り、後年度に普通地方交付税が受けられる有利な地方債を充当できるようにしました。

- ④議員年金に関する特例
- ⑤市となるべき要件の緩和
- ⑥その他

【資料1】「市町村の合併の特例に関する法律」
この法律は昭和40年に10年間の時限立法として制定され、その後昭和50年、昭和60年、平成7年に10年間づつ延長されてきました。平成11年の改正では期限は変更されず以下のような改正が行なわれました。

①合併協議会設置にかかる住民発議制度の拡充
②普通交付税の算定の特例の期間の延長
③合併特例債の創設
新市町村建設計画に基づく事業で特に必要と認められるものには10カ年度に限り、後年度に普通地方交付税が受けられる有利な地方債を充当できるようにしました。

答 4 「市町村の合併の特

良と考えます。

【図1】

